



徳田っ子

学校教育目標

- 思いやりのある子
- かしこい子
- たくましい子

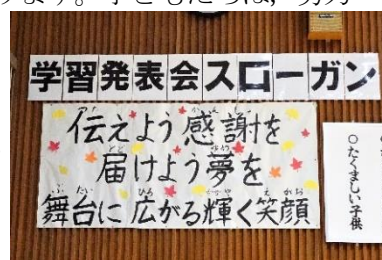
矢巾町立徳田小学校 校報「徳田っ子」第7号 令和3年11月8日発行

自身の成長を実感できた学習発表会

10月16日の学習発表会へのご来場、大変ありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために8月12日に発せられた「岩手緊急事態宣言」が9月16日に解除されたことで、保護者の皆様にご覧いただくことができました。宣言が続いていれば、県の方針によって皆様を会場に入場させることができないこととなっておりましたので、昨年と同様にできたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は、マスクを付けての発表という条件の中で雨が降り、言葉が聞き取りにくい場面もありましたが、子どもたちが精一杯頑張る姿をご覧いただくことができたと思っております。子どもたちは、努力・協力し合ったりアイデアを出し合ったりしながらの練習や準備を通してたくさんのお話を学び、発表後の姿からは、達成感と喜びの中で自分の成長を実感することができたことがうかがわれます。今後も「よりよい学校生活づくり」や「よりよい自分づくり」に努力し続けてほしいと思います。

保護者の皆様には、衣装の準備やお子さんへの励まし等、たくさんのご支援をいただきました。また、オンラインでの感想では、温かいお言葉をたくさん頂戴いたしました。本当にありがとうございました。



挨拶運動

明るく仲良く笑顔あふれる徳田小学校にするために、児童会が中心となって「挨拶運動」を展開しました。執行部の子どもたちが児童玄関付近に立ち、挨拶ができた人にはシールを渡して意識を高めました。特に明るい挨拶や爽やかな挨拶ができた人は、昼の放送で紹介されました。朝に限らず、廊下で出会った時にも「こんにちは。」と挨拶する子どもたちがたくさんいます。友達同士で爽やかな挨拶を交わす場面も多くなりました。

挨拶は良好な人間関係づくりの意味から、とても大切なコミュニケーションツールです。挨拶運動が終わっても、挨拶の輪が広がり続けてほしいと期待しているところです。



ゲームでのトラブルが発生しています

メディア利用のルールやマナーについて、本校では、「スマホ・ケータイ人権教室」、タブレットを利用した学級での学習、メディアダイエットの取組等で継続的に指導しております。このほか、それぞれのご家庭でルール決めていただく取組も行っておりますが、オンラインゲームにかかわるトラブルが本校児童の間でもいくつか起きております。

《トラブルの一例》

- ・ゲーム中の心無い言葉や攻撃が、一緒にゲームに参加しているメンバーを不快にさせたり、友達関係に亀裂を生じさせたりする原因になっている。
- ・「フレンドをはずす。」と言われて嫌な気持ちになり、互いに相手を悪く言い合う等の争いが起きている。
- ・SNS 生配信の中で、知らない人たちに気持ちを激しく煽られ、個人情報を引き出されそうになった。
- ・会ったこともない人が混じってゲームをしている最中、友達の実名を呼んでしまった。

年齢制限が設定されたゲームもたくさんあります。これは、そのゲームの内容や表現が子どもたちの心身にどんな影響を与えるかを審査して設定されたものです。15歳以上対象のゲームに、低学年が参加していたこともあり、大変心配しております。

また、長時間のゲームは、知能や情緒をつかさどる「前頭前野」の発達を阻害する危険性があると言われております。

保護者の皆様には、お子さんが、どんな内容のゲームを、誰と、どんな様子で、いつ、どれだけの時間やっているのか等について、常に高いアンテナでキャッチしていただき、お子さんの心身の安全・安心と健康を守っていただきますようお願いいたします。



赤い羽根共同募金・1円玉募金

JRC委員会の呼びかけで、今年度も「赤い羽根共同募金」と「1円玉募金」を実施しました。

3日間で集まった募金の総額は8,881円にもなりました。赤い羽根共同募金として町社会福祉協議会に4,440円、1円玉募金としてJRC岩手県支部に4,441円お渡しする予定です。

ご協力ありがとうございました。

